

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
岩下 千恵子			
B（経営学科）	S（専門科目）	TR（観光）	201（中級科目）

授業のねらい（概要）	観光に関する基礎的な知識を習得させ、観光をめぐる状況と観光がもたらす経済効果について理解することにより、観光に関連する活動を主体的、創造的に行う能力と態度を育てる。観光市場の規模と特徴や地域振興における観光の役割と重要性について概説したうえで、観光産業の地域比較を通して、観光の現状と課題について考察するとともに、観光関係法律の体系と用語や法令用語の読み方、基礎用語について学修する。		
授業計画	第1回	【遠隔】オリエンテーション 観光学とは何か、科目のねらい、講義計画及び成績評価方法の説明する。 予習（時間）：シラバスを熟読（60分） 復習（時間）：講義計画、成績評価、使用教科書の確認（60分）	
	第2回	【遠隔】観光の概念と観光学 観光の概念・意義・構造・観光学の対象と方法を説明する。 予習（時間）：テキスト熟読（第3章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第3回	【遠隔】観光の歴史 現代観光の出現に至るまでの日本と世界の観光の歴史について概観する。 予習（時間）：テキスト熟読（第14章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第4回	【遠隔】観光行動と観光者心理 観光が成立する仕組みと条件について説明する。 予習（時間）：テキスト熟読（第4章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第5回	観光地と観光資源 観光者を誘引する観光資源と観光対象について説明する。 代表的な群馬県、高崎市の観光地、観光資源にはどのようなものがあるか学ぶ。 予習（時間）：テキスト熟読（第5章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第6回	【課題】観光と観光産業 観光に関連する産業・ビジネスの種類について説明する。 予習（時間）：テキスト熟読（第6章と10章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第7回	観光と旅行業 旅行業の役割と業務について説明する。群馬県、高崎市関連の旅行商品について学ぶ 予習（時間）：テキスト熟読（第7章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第8回	観光と交通運輸業 観光者と観光地を結ぶ交通業の役割について説明する。 予習（時間）：テキストの熟読（第9章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第9回	観光と宿泊業 宿泊施設の種類と産業上の特徴について説明する。 予習（時間）：テキストの熟読（第8章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第10回	【課題】観光情報と観光情報産業 観光者の観光行動を誘発する情報産業について説明する。 予習（時間）：テキストの熟読（第11章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第11回	観光とマーケティング マーケティングの考え方の観光産業への応用について説明する。 予習（時間）：テキストの熟読（第13章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第12回	観光と社会 観光が社会に与えるさまざまな影響について説明する。 予習（時間）：テキストの熟読（第1章と2章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第13回	【課題】観光政策と行政 日本における国及び地方自治体による観光政策の具体例について説明する。 高崎市の高崎市の観光の現状と観光マーケティングの事例紹介を行う。 予習（時間）：テキストの熟読（第12章）（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第14回	現代観光の現状と未来の姿 近年の日本の国内観光と国際観光の実態について統計データを活用して説明する。 予習（時間）：観光関連データの把握（120分） 復習（時間）：授業内容の復習（120分）	
	第15回	まとめ これまでに学修したことについてまとめ、重要ポイントを振り返る。	

	予習（時間）：全体の授業の内容把握（180分） 復習（時間）：全体の授業の内容復習（180分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）の下記の能力を身につける科目となっている。 ・専門的分野での学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（経営学科）の下記の能力を身につける科目となっている。 ・経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多角的に理解し、活用できる能力 【身に付くスキル】 課題解決力・地域力
到達目標	①観光に関する基礎用語の意味を理解した上で、観光が与える様々な効果と現代社会における観光の現状と課題について説明できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の小レポートは採点し返却し、正解や評価を説明する。
履修上の注意	日常生活の中でも観光に関する新聞記事や情報に意識的に目を向けること。
成績評価の方法・基準	①課題小レポート 30% ②定期試験 70%
教科書	観光学基礎 ―観光に関する14章―（第8版） 著者名：羽田耕治監修 出版社：JTB総合研究所 発行年：2019年 価格：2,090円（税別）
参考書・教材	【参考書】新現代観光総論第3版 著者名：前田勇編著 出版社：学文社 発行年：2019年 価格：2400円
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は第6、10、13回を課題研究として学修する。 第6回 当初シラバスの講義内容のパワーポイントの資料と教科書の該当箇所（第5章と9章）を熟読し、教科書の第5章Self Checkの問題①～⑤の解答をする。（330分の学修時間） 第10回 当初シラバスの講義内容のパワーポイントの資料と教科書の該当箇所（第10章）を熟読し、教科書のSelf Checkの問題①～③の解答をする。（330分の学修時間） 第13回 当初シラバスの講義内容のパワーポイントの資料と教科書の該当箇所（第11章）を熟読し、教科書のSelf Checkの問題①～⑤の解答をする。（330分の学修時間） 「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は状況により「最終レポート」で代替することがある。その場合には速やかにmelly及び授業で実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内に周知する）